［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

10
2006 No. 630
平成18年10月１日発行



特 集

平成17年度決算報告
お知らせします 村の家計簿

■**行政情報**
議会議員定数・特別職報酬等審議会を設置　ほか

■**トピックス＆インフォメーション**
子どもたちにおいしい給食を　ほか

■**ほっとニュース**
ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式
自主防犯パトロール出発式　ほか

［表紙写真］
炊飯器で炊いたご飯をほおばる青生野小の子どもたち／８ｐに関連記事（９月７日）

特集

平成17年度決算報告

お知らせします 村の家計簿

村の平成十七年度の決算がまとまり、九月下旬に行われた村議会定例会で認定されました。

村では、厳しい財政状況の中、第三次鮫川村振興計画に基づき、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念に、四つの基本施策を展開する事業を進めてきました。

これらの基本施策を盛り込んだ平成十七年度の歳出(支出)決算額は、一般会計が二十九億七千八百六十一万円、特別会計が十四億二千七百六十三万円で、全会計合わせて四十四億六百二十四万円となりました。

今月号は、平成十七年度決算のあらましをお知らせします。


村敬老会(9月17日)

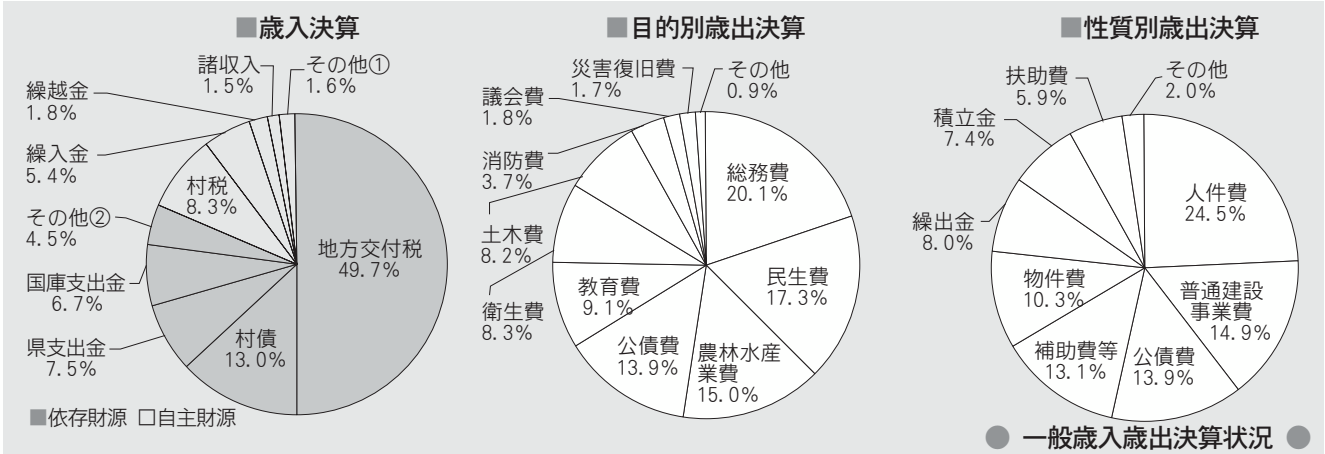
一般会計

平成十七年度の一般会計決算額は、歳入(収入)総額三十億三千六百十五万円、歳出(支出)総額二十九億七千八百六十一万円で、歳入歳出差引額が五千七百五十三万円の黒字となりました。

【歳入】

歳入は、前年度と比較すると七万円(〇%)の減少となりました。

歳入は、その性質から「依存財源」(国や県から入ってくるお金)と「自主財源」(村が自分の手で確保できるお金)に分けられます。依存財源で大半を占めるのは「地方交付税」で、十五億七百七十二万円となり、前年に比べ三百六十万円(〇・二%)の増加となりました。また、大きな事業を行う場合には、国や県から補助金



全会計合わせて44億円を支出

[対前年度比786万4千円(1.8%)増]

平成17年度決算報告

■会計別決算の状況

会計別		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		30億3,615万1千円	29億7,861万7千円	5,753万4千円
特別会計		14億6,702万8千円	14億2,762万7千円	3,940万1千円
国民健康保険	事業勘定	4億4,844万1千円	4億2,987万5千円	1,856万6千円
	直診勘定	7,988万4千円	7,527万3千円	461万1千円
老人保健		5億1,418万6千円	5億1,386万円	32万6千円
簡易水道事業		6,655万3千円	6,508万7千円	146万6千円
村営バス事業		715万6千円	653万8千円	61万8千円
集落排水事業		3,774万5千円	3,631万5千円	143万円
介護保険		2億7,985万1千円	2億6,895万9千円	1,089万2千円
交流施設		3,321万2千円	3,172万円	149万2千円
決算総額		45億318万円	44億624万5千円	9,693万5千円

■一般会計歳入決算の状況

区分		予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源		5億6,520万9千円	18.6	△5,617万4千円	△9.0
	村税	2億5,342万3千円	8.3	△56万2千円	△0.2
	繰入金	1億6,529万5千円	5.4	△5,143万3千円	△23.7
	繰越金	5,613万5千円	1.8	△382万8千円	△6.4
	諸収入	4,521万円	1.5	△470万8千円	△9.4
	その他①	4,514万3千円	1.6	435万7千円	10.7
依存財源		24億7,094万2千円	81.4	5,610万3千円	2.3
	地方交付税	15億772万2千円	49.7	360万7千円	0.2
	村債	3億9,450万円	13.0	3,060万円	8.4
	県支出金	2億2,780万3千円	7.5	△7,287万1千円	△24.2
	国庫支出金	2億323万7千円	6.7	9,181万7千円	82.4
	その他②	1億3,768万円	4.5	295万1千円	2.2
計		30億3,615万1千円	100.0	△7万1千円	0.0

※その他①＝使用料手数料、財産収入、寄附金、分担金及び負担金／その他②＝地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金、株式譲渡所得割交付金、配当割交付金

■一般会計目的別歳出決算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
総務費	5億9,727万1千円	20.1	△3,968万5千円	△6.2
民生費	5億1,414万8千円	17.3	△4,114万円	△7.4
農林水産業費	4億4,725万8千円	15.0	△227万2千円	△0.5
公債費	4億1,282万1千円	13.9	△6,653万3千円	△13.9
教育費	2億7,183万5千円	9.1	△2,522万6千円	△8.5
衛生費	2億4,671万4千円	8.3	△238万4千円	△1.0
土木費	2億4,564万7千円	8.2	1億8,171万9千円	284.3
消防費	1億930万8千円	3.7	△185万9千円	△1.7
議会費	5,407万5千円	1.8	△286万円	△5.0
災害復旧費	4,929万4千円	1.7	△5万1千円	△0.1
その他	3,024万6千円	0.9	△117万6千円	△3.7
計	29億7,861万7千円	100.0	△146万9千円	0.0

※その他＝労働費、商工費

■一般会計性質別歳出決算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	7億3,010万6千円	24.5	830万8千円	1.2
普通建設事費	4億4,334万5千円	14.9	1億1,864万1千円	36.5
公債費	4億1,282万1千円	13.9	△6,653万4千円	△13.9
補助費等	3億8,892万6千円	13.1	141万3千円	0.4
物件費	3億823万4千円	10.3	△5,027万2千円	△14.0
繰出金	2億3,870万9千円	8.0	2,614万3千円	12.3
積立金	2億1,899万8千円	7.4	△3,792万4千円	△14.8
扶助費	1億7,568万9千円	5.9	58万6千円	0.3
その他	6,178万9千円	2.0	△183万円	△2.9
計	29億7,861万7千円	100.0	△146万9千円	0.0

※その他＝災害復旧費、維持補修費、投資及び出資金・貸付金

をもらいますが、平成十七年度は、県支出金としては、前年に比べ七千二百八十七万円（二四・二％）減の二億二千七百八十万円、国庫支出金は前年に比べ九千百八十一万円（八二・四％）増の二億三百二十三万円が村に交付されました。

さらに、「村債」（村が事業を行うために借り入れたお金）は前年度に比べ三千六十万円（八・四％）増の三億九千四百五十万円となり、依存財源が全体に占める割合は八一・四％となりました。

自主財源の主なものはみなさんに納めていただく「村税」（村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税）で、前年度に比べ五十六万円（〇・二％）の減の二億五千三百四十二万円となりました。また、さまざまな基金からの繰入金は前年度に比べ五千百四十三万円（二三・七％）減の一億六千五百二十九万円となり、自主財源の中で村税に次ぐ割合を占めました。

【歳出】

歳出は、前年度に比べ全体で百四十六万円（〇％）の減少となりました。

目的別歳出のトップは、総務費の五億九千七百二十七万円（二〇・一％）。次いで民生費の五億千四百十四万円（一七・三％）、農林水産業費の四億四千七百二十五万円（一五・〇％）となりました。

性質別では、人件費が七億三千十万円（二四・五％）でトップとなり、普通建設事業費の四億四千三百三十四万円（一四・九％）、公債費の四億千二百八十二万円（一三・九％）と続きます。平成十七年度に行った主な事業については、四・五ページをご覧ください。

特別会計

「特別会計」とは、特定の事業を特定の収入で行うために、予算を分けて、独立して設けた会計をいいます。

平成十七年度の特別会計決算額の総額は、歳入が十四億六千七百二万円で、前年度に比べ六千九百八十八万円（五・〇％）の増となりました。また、歳出は十四億二千七百六十二万円となり、前年度に比べ八千十万円（五・九％）の増となりました。

主な事業概要①

＜農村の再生ビジョン＞
独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

【環境と健康を食べる】

●中山間地域等活性化総合支援事業に（村農産物加工・直売所「手・まめ・館」整備） 5,094万円

●大豆による元気づくり事業に（大豆加工・特産品製造設備導入、直売所案内看板などの設置、特産品などのPR） 1,259万円

●環境にやさしい米づくり事業に 108万円

【農村の景観と文化を生かす】

●舘山公園整備事業のために 3,991万円

●中山間地域等直接支払交付金として1億2,310万

【災害復旧】

●災害復旧のために（16年災…河川3カ所、17年災…河川1カ所、村道2カ所） 4,433万円

主な事業概要②

＜農村の環境ビジョン＞
自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

【道路網・道路環境の整備】

●村道寅卯平富田線改良事業に 1億円

●村道遠ケ竜戸草線舗装事業に 680万円

●道路付属施設等環境美化事業（道路除草）に145万円

●県営農道整備事業負担金として（東白川地区広域農道・東野中部地区農免農道） 6,313万円

【水を大切にし、環境に配慮した排水の処理】

●合併処理浄化槽設置費補助のために（20基） 1,137万円

●集落排水事業のために（集落排水事業特別会計繰出金） 2,810万円

【その他】

●東白衛生組合運営費負担金として 8,598万円



中山間直接支払交付金事業で管理されている景観



村営住宅渡瀬団地



村農産物加工・直売所「手・まめ・館」

村民1人当たりに使われるお金は**669,653**円（15,121円）です。

一般会計歳出決算額÷平成18年3月31日現在の人口4,448人で計算。
［（ ）内は対前年比。平成17年度は平成17年3月31日現在の人口4,553人で計算。］

総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	**134,279**円（△5,619円）
民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	**115,591**円（△6,370円）
農林水産業費	農林水産業の振興や農林道の整備などのためのお金	**100,553**円（1,820円）
公債費	地方債（村の借入金）を返済するためのお金	**92,811**円（△12,472円）
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	**61,114**円（△4,131円）
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	**55,466**円（755円）
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	**55,226**円（41,185円）
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	**24,575**円（159円）
議会費	村議会運営のためのお金	**12,157**円（△348円）
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	**17,882**円（143円）

村のお金の使いみち

平成17年度はこんな仕事を行いました

主な事業概要③

＜農村の暮らしビジョン＞
みんなが安心して生活できる村の実現

【安心生活ができる公共交通づくり】
- ●生活バス路線運行のために（福島交通バス運行補助金および村営バス特別会計繰出金） 1，308万円

【多様な暮らしの工夫】
- ●まちづくり交付金事業（村営住宅渡瀬団地建設、渡瀬広場敷地造成、旧渡瀬小学校校舎・プール解体撤去、メモリアル館改修工事などに） 9，627万円

【火災と災害への備え】
- ●小型動力ポンプ（1台）・消火栓用ホース（34本）購入のために 243万円
- ●白河地方広域市町村圏整備組合常備消防費負担金として 8，116万円
- ●防災行政無線設備維持管理に 204万円

【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】
- ●住民健康診査のために（各種がん検診含む） 1，38 4 万円

【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】
- ●高齢者総合福祉センター（ひだまり荘）運営のために 1，803万円
- ●さぎり荘運営のために 485万円
- ●高齢者筋力づくり教室のために 498万円
- ●高齢者インフルエンザ予防接種のために 168万円
- ●介護保険事業計画などの策定事業のために199万円

【子育て支援体制づくり】
- ●保育園・こどもセンター運営のために 1 億5，457万円
- ●乳幼児医療費助成のために 986万円
- ●妊婦一般健康診査のために 38万円
- ●妊産婦医療費助成（社保分）のために 54万円
- ●幼稚園運営費として 2，328万円

【障害者の支援体制づくり】
- ●身体障害者施設訓練などの支援のために2，539万円
- ●知的障害者施設訓練などの支援のために4，895万円
- ●重度心身障害者医療費扶助のために 1，110万円

【その他】
- ●地方振興費（各行政区への補助金） 248万円
- ●区長・副区長・行政連絡員報酬として 1，040万円

主な事業概要④

＜農村の人づくりと産業ビジョン＞
地域から世界を見ることができる人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

【学校教育の充実】
- ●小・中学校基礎学力向上推進事業（学力診断テスト）に 41万円
- ●豊かな体験活動事業に 92万円
- ●鮫川小・中学校コンピュータ借料に 382万円
- ●鮫川中学校修学旅行助成金として 88万円
- ●語学指導を行う外国青年招致事業に 431万円
- ●スクールバス運行のために（小学校2台、中学校4台） 2，535万円
- ●スクールバス購入のために（1台） 1，080万円

【安心安全、顔の見える農業の振興】
- ●水田作付条件整備事業（暗渠排水22戸） 215万円
- ●畜産環境保全条件整備事業のために（堆肥舎などの整備・3組合） 436万円
- ●肉用牛生産振興事業に（市場運搬経費、ヘルパー経費補助） 119万円
- ●優良牛整備増殖事業に（優良和牛基礎雌牛導入補助） 92万円
- ●恵の農地再生事業のために（草地更新3組合） 576万円

【ふるさとの森を守り育てる】
- ●森林整備地域活動支援交付金として 464万円
- ●松くい虫防除事業のために 485万円

【商工業の振興、雇用機会の確保】
- ●さめがわふるさと商品券発行事業費補助金として 20万円
- ●事業所の福利厚生などのために 14万円

【村の特徴を活かした観光の振興】
- ●高原の鮫川うまいもの祭りのために 180万円
- ●鹿角平観光牧場の維持管理のために 226万円

【その他】
- ●国土調査のために 4，658万円
- ●国勢調査のために 193万円
- ●衆議院議員選挙のために 539万円
- ●議会運営のために 5，408万円
- ●図書館運営として 782万円
- ●村の借入金返済のために 4億1，282万円

平成17年度決算報告

特別職の報酬などを諮問
「議会議員定数・特別職報酬等審議会」を設置

村では、極めて厳しい財政状況の中で、自立に向けた村づくりの取り組みとして特別職の報酬などの見直しをするため、「議会議員定数・特別職報酬等審議会」を設置し、第1回目の会議を8月31日に開催しました。

会議では、役員選出が行われ、村長から任命された委員の互選により会長に前田勝之さんが、副会長に関根彦孝さんが選任されました。

●諮問事項
①議会議員の定数について
②特別職の報酬などについて
▼村長・助役・教育長の給料月額について▼議会議員の報酬月額および期末手当について▼非常勤特別職の監査委員、選挙管理委員会委員、教育委員会委員、農業委員会委員、消防団員、区長、副区長、行政連絡員の報酬額について

●答申期日 11月末日まで

なお、議会議員の定数については、平成17年5月に議会議長へ諮問し、平成18年3月に「議員定数12名、常任委員会数2委員会」で答申を受けています。

●問い合わせ 村総務課☎49-3111

鮫川村議会議員定数・特別職報酬等審議会委員
（敬称略）

所　属	氏　名	備　考
行政区長	星　一彌	赤坂西野区長
	関根　彦孝	西山区長
	矢吹　堅壽	赤坂中野区長
	宗田　豊	赤坂東野・石井草区長
	鷲野谷 武志	富田区長
	蛭田　吉郎	渡瀬区長
	武藤　明	青生野区長
農業者代表	矢吹　勝美	村農業委員会長
	芳賀　逸義	アグリニュー鮫川会長
商工業者代表	前田　勝之	村商工会副会長
	水野　洋子	村商工会女性部長
勤労者代表	矢吹　仁	村勤労者互助会副会長
	中川西 敏子	鮫川中ＰＴＡ副会長



「健康運動推進員」養成講座を開催

近年、身体活動（生活と運動）量が減少する傾向にあり、交通手段の発達や労働の機械化、家庭生活の電化などにより、身体を使う機会がどの年代層においても目に見えて減少しています。身体活動量不足は、体力や生活適応能力の低下につながり、肥満や生活習慣病などの素因にもなっています。特に、高齢者は身体能力低下の影響を受けやすいといわれ、村内の高齢者の数は、3・3人に1人（将来は2人に1人）という状況です。

高齢になると激しいスポーツはしにくく、体力づくりや健康づくりのための健康運動の実践や生活スタイルの見直しが重要です。村では、年々増加していく高齢者を、できるだけ元気な「お達者」高齢者になってもらえるようにさまざまな事業を展開していますが、これらの事業についてより身近な地域で活動していただくための「健康運動推進員」養成講座を開催します。

この講座では、健康運動を推進するために必要な基礎知識や運動の方法について、正しい理論や方法が学べます。自分や家族のため、地域のためにぜひ学んでみませんか。運動を中心とした楽しい講座なので、男女を問わずご参加ください。

●開催日 ①10月29日（日）／②11月11日（土）／③11月28日（火）［視察研修］／④12月3日（日）／⑤12月10日（日）⑥12月16日（土）
※講座は、午前中のみで、視察研修は、1日を予定しています。

●対象者 概ね60歳代までの方で、次に当てはまる方…▼健康づくりのための運動に興味のある方▼健康づくり、体力づくりの運動を習得したい方▼介護予防および介護業務に従事している方で、からだの正しい動かし方や体操を習得したい方

●内容 健康づくりの運動に必要な基礎知識や健康運動の方法の習得…▼心身の健康と生活との関わり（運動・食事・休養など）▼健康をつくる運動と実際（総論・各論）▼健康チェックおよび運動の効果判定指標の測定と見方▼運動障害の予防と応急処置▼レクリエーションの実際▼健康運動活動の視察研修（山形県）

●講師 医師や健康運動指導士、理学療法士、管理栄養士など

●受講料 無料（ただし、テキストや昼食代などは自己負担）

●申し込み期限 10月20日（金）

●問い合わせ 村住民福祉課健康係（保健センター内）☎29-1231

平成18年度

秋の農作業安全運動実施

9月20日から10月20日まで

実りの秋を迎え、農作業が忙しい時期となりました。コンバインや乾燥機、トラクターなどの使用中や、道路走行中にも常に安全を心がけ、事故を未然に防ぎましょう。

農作業事故ゼロを目指し、次の点に注意しましょう。

●作業の前後には農業機械の点検整備を必ず実施する。

●コンバインなどの作業中に機械の点検・調整、稲わらの除去などをする場合は必ずエンジンを止めてから行う。補助作業者にも緊急時のエンジン停止方法を伝えておく。

●機械の積みおろしやほ場への出入りの際は、転倒・転落に注意する。

●共同作業者の位置や状況を常に確認しながら作業を進める。特に、エンジンをかけたり発進するときには安全確認をする。

●道路走行中は交通ルールを守り、路肩の強度や幅に十分注意する。

●夕暮れ時は早めにライトを点灯し、反射材（低速車マーク、反射テープなど）を利用し、ほかの車から確認しやすくする。

●ゆとりある作業計画を立て、決して無理はしないように心がける。

●**問い合わせ**　福島県南農林事務所農業普及部☎０２４８-２３-１５６３

70歳未満の方の

医療制度が変わります

平成18年10月から

●**高額療養費の自己負担額が変わります**

同じ人が同じ月内に、同一の医療機関に支払った自己負担額の合計額が高額になった場合、申請して認められると自己負担限度額を超えた分は高額療養費として支給されます。

今回の改正により、70歳未満の方は、10月1日から左表のとおり自己負担限度額が一部引き上げられます。

なお、住民税非課税世帯の方はこれまでと変わりません。

●**出産育児一時金が変わります**

少子化対策の一環として、被保険者が出産したときに受けられる出産育児一時金の支給額が、現行の30万円から35万円（1児あたり）に引き上げられます。

●**問い合わせ**　村住民福祉課住民係☎４９-３１１２

●自己負担限度額［９月30日まで］　（月額）

	３回目まで	４回目以降 ※2
一　般	**72,300円＋** 医療費が241,000円を超えた場合はその超えた分の1％を加算	**40,200円**
上位所得者 ※1	**139,800円＋** 医療費が466,000円を超えた場合はその超えた分の1％を加算	**77,700円**
住民税非課税世帯	**35,400円**	**24,600円**

●自己負担限度額［10月1日から］　（月額）

	３回目まで	４回目以降 ※2
一　般	**80,100円＋** 医療費が**267,000円**を超えた場合はその超えた分の1％を加算	**44,400円**
上位所得者 ※1	**150,000円＋** 医療費が**500,000円**を超えた場合はその超えた分の1％を加算	**83,400円**
住民税非課税世帯	**35,400円**	**24,600円**

※1　基礎控除後の総所得金額などが600万円（９月30日までは670万円）を超える世帯。
※2　過去12カ月間に、一つの世帯での支給が４回以上あった場合の４回目以降の限度額。
（注）　これらの金額は保険適用分のみとなり、差額ベッド代や食事代は含みません。

10月・11月は地産地消月間

「地産地消」で地域経済を活性化しよう

地産地消は、豊かな自然や風土、先人が培った歴史や文化に育まれた農産物など地域の資源を地域みんなで賞味し、守り、育て、地域の活性化のために利活用していく取り組みです。

10月から11月は実りの秋。安全で安心なおいしい食材がたくさん収穫され、県内各地で収穫祭や物産展などさまざまなイベントが実施されます。

この機会に実り豊かなふくしまを実感してみませんか。

●**地元のおいしい食材を味わいましょう**

県内には果樹や野菜などはじめとして、たくさんの農林水産物があります。地元のおいしい食材を地元で味わうのが「地産地消」の醍醐味です。

●**地元のいい木材で家をつくりましょう**

地元の木材や石材などを利用し、地元の大工さんがつくる家に住むことも「地産地消」のひとつです。

●**地元の観光に親しみましょう**

地域の歴史や風土から生まれた名所、旧跡などに出かけ、触れてみることも「地産地消」です。

●**地元の商店で買い物を楽しみましょう**

地元の商店で、地元の農林水産物などを買うことは、地域の中で物や人が交流することにつながります。地元の商店街が発展することで、地域社会の活性化に結びついていきます。

●**問い合わせ**　福島県企画調整部総務企画グループ☎０２４-５２１-７１０８

子どもたちにおいしい給食を


子どもたちの前には温かいご飯が並びます（青生野小）

1 炊きたての温かいご飯を子どもたちに提供

村では、青生野小学校をモデル校として、二学期からの給食に炊飯器で炊いたご飯を提供する試み「学校給食炊飯モデル事業」を始めました。

この事業は、「地産地消」とともに子どもたちに食文化や農業へ関心を持たせる「食育」を推進するため、福島県の地域づくりサポート事業の助成を受けて実施しているものです。

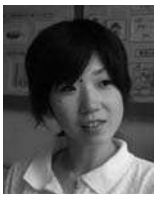
青生野小の子どもたちが食べるご飯は、「手・まめ・館」で炊飯器を使って炊かれ、給食車で炊飯器のまま配送されます。学校に着いてからも保温されたままの状態のため、子どもたちの前には、従来の委託炊飯よりもより炊きたてに近く温かいご飯が並びます。

この取り組みは来年三月まで行われ、結果を検証したうえで本格的な実施を検討していく予定です。


吉成 達也（よしなり たつや）君
（青生野小５年）
ご飯が前よりもおいしくなったので、いつもいっぱい食べています。


藤田恭佳（ふじた きょうか）ちゃん
（青生野小１年）
毎日楽しみに給食を食べています。おかわりもしています。


棚井 隆毅（たない りゅうき）君
（青生野小３年）
１学期よりもご飯がとてもおいしくなりました。


武田 真奈美（たけだ まなみ）先生
（養護助教諭）
炊飯器の給食が始まってから子どもたちは、お米の作り方や種類などお米に関心を持つようになりました。また、以前よりも給食の用意や片づけを進んでやるようになったと思います。

2 2学期分の給食から古殿町の小・中学校などに給食を配送


村の給食センターから届けられた給食を食べる子どもたち（古殿町論田小）

三月三十一日に行われた「古殿町・鮫川村学校給食調理業務委託に関する調印」を受け進められていた学校給食センターの改築工事が八月十日に終わり、同月二十八日から両町村の学校給食調理業務が開始されました。

工事では、これまでの調理室、下処理室、洗浄室などを拡張。衛生面に配慮して新たにサラダ・和え物室が設置されました。総事業費は約六千七百万円で、備品の一部を除いて古殿町が負担しています。

村給食センターでは、これまで村内三つの小・中学校（鮫川小、青生野小、鮫川中）に約四百五十食を提供していましたが、二学期からは古殿町の八つの小・中学校など（古殿幼稚園、田口小、宮本小、大原小、大久田小、山上小、論田小、古殿中）の給食を含め約千二百食を提供します。また、給食の材料は古殿町の直売所「おふくろの駅」や「手・まめ・館」の農産物を積極的に使い、「地産地消」を推進していきます。

■人事異動【8月21日付】
▼主任運転手兼調理員（古殿町より派遣）**吉田利之**
▼運転手兼調理員（古殿町より派遣）**笹島重行**

715人の長寿を祝う

平成18年度村敬老会

平成十八年度鮫川村敬老会は九月十七日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。

今年は満七十五歳以上の七百十五人（男性・二百六十四人、女性・四百五十一人）を招待。最高齢は鈴木マチヱさん（伏木田）の満百一歳となっています。

敬老会では、大樂村長が「幾多の困難を乗り越えられて、村づくりにご活躍されたみなさんに敬意と感謝を申し上げます。健康に留意して長生きをしてください。」とあいさつ。米寿、八十歳到達者、金婚夫婦に記念品が贈られたあと、阿久津村議会議長らが祝辞を述べました。

また、鮫川小六年の下重優樹君（関口）と鮫川中三年の戸室優佳さん（二反田）が高齢者に感謝する作文を朗読し、中野八幡神社秋季祭礼の子どもみこしがお祝いに駆けつけました。

続いて、アトラクションに入り、ふる里文化芸能クラブや各地区の高齢者支援団体が踊りや歌を披露し、楽しいひとときを過ごしました。





上…アトラクションでは、賑やかに踊りなどが披露されました／中…お祝いに駆けつけた子どもみこし／記念品の贈呈を受ける参加者



長寿者番付

（平成18年９月15日現在・敬称略）

順位	氏　名	満年齢	順位	氏　名	満年齢
1	鈴木 マチヱ	101	30	吉保 マサエ	92
2	芳賀 輔宗	98	31	矢吹 テル	92
3	石田 末子	98	32	長久保 勲	91
4	石井 ウメノ	97	33	斎藤 ハギ	91
5	関根 ミツ	96	34	星　武	91
6	鈴木 ハツ	96	35	吉田 國男	91
7	蛭田 ハナエ	95	36	佐藤 キク	91
8	渡邊 スイ	95	37	北條 ツメ子	91
9	吉保 重利	95	38	鈴木 公義	91
10	舟木 ヨシ	95	39	松本 ノブヨ	91
11	青戸 ナヲ	94	40	赤坂 ツ子	91
12	矢吹 喜一	94	41	國井 卯吉	91
13	水野 喜美	94	42	森 キクヨ	91
14	生田目 タマ	94	43	味原 伊助	91
15	藤田 敏	94	44	宗田 ユキ	90
16	阿久津 チヨ	94	45	藤田 卓三	90
17	石井 清市郎	93	46	橋本 キヨミ	90
18	関根 ハルヨ	93	47	星　弘	90
19	芳賀 ウメノ	93	48	鈴木 ミサオ	90
20	中野西 シゲヨ	93	49	関根 廣美	90
21	湯坐 ハツ	93	50	鈴木 徳子	90
22	蛭田 イネ	92	51	高橋 チヨ	90
23	阿久津 秀勝	92	52	野崎 トミヨ	90
24	松本 ミノ	92	53	湯坐 フチイ	90
25	関根 スヱ	92	54	鷺野谷 スイ	90
26	松本 トメ	92	55	田子 フジ	90
27	棚井 イツ	92	56	大平 太平	90
28	鈴木 クニ	92	57	髙坂 トク	90
29	佐藤 キクイ	92	58	青戸 テル	90

1 NEWS チーム一丸となって健闘を誓う ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式

十一月十九日に開催される第十八回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)の鮫川村チーム結団式は九月十五日、村公民館で行われ、本部役員、選手など約六十名が参加しました。


決意表明を行う矢吹さん

式では、本部長の大樂村長、水野博和団長、戸村正明監督があいさつ。続いて大会の役員、選手団、チーム強化計画などについて協議を行ったあと、選手を代表して矢吹恵里香さん(学法石川高二年)が力強く決意を表明し、チームの健闘を誓いました。

また、翌十六日には、チーム強化の一環として、本村チームの中学生十一人が第五回ひがし郷里マラソン(白河市東地区)に参加。上位五人のタイムの合計を競う五㌔中学生男子(団体戦)の部で見事第一位の成績を収めました。

なお、今後はロードレース大会などへの参加や合同練習を行い大会に臨む予定です。



好成績を収めた鮫中生チームと関係者ら

2 NEWS 初秋の里山の自然を満喫 大妻女子大学の西成ゼミが村内で合宿

村との交流を行っている大妻女子大学(東京都千代田区)の西成ゼミ合宿は、九月四日から六日までの三日間、村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」を拠点に村内各地で行われました。

今回の合宿には、大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科の学生など十四人が参加。初日は、菅生の郷自然学校(鍬木田)で、山野草や雑木林を観察し、中山間地域の農業の役割についての学習会を行いました。

二日目は、農業者トレーニングセンター脇の大豆畑の除草作業や、雑木林(舘山公園内)の除伐作業などを体験。引き続き保健センター裏の川と江竜田の滝、青生野小学校前の川で水質調査を行いました。三日目は、バウムクーヘンづくりや天狗橋の水質検査を行うなど、学生たちは初秋の里山の自然を満喫していました。



上…合宿に参加した学生ら／下…大豆畑の除草作業を行う学生

3 NEWS
地域への感謝を込めて
東白農商校鮫川分校がクリーン運動を実施


ごみ拾いを行う鮫川分校の生徒たち

東白川農商高校鮫川分校（池田健一郎分校長）では、地域の道路周辺の清掃・美化活動を通して、公共心と郷土を愛する心を養うとともに地域に感謝し、日常の生活・行動を見直そうと毎年一回クリーン運動を行っています。

今年の活動は九月二十日に行われ、全校生徒約六十名が参加。生徒たちは八班に分かれ、学校周辺の道路のごみ拾いや、学校敷地の除草、側溝の泥上げなどを約二時間かけて行いました。

4 NEWS
中川西・増谷組が優秀賞受賞
2006年全日本少年武道少林寺拳法錬成大会


優秀賞を受賞した中川西君、増谷君（中央）と鮫川支部のみなさん

少林寺拳法福島鮫川支部（小松照義代表）所属の中川西真吾君と増谷吉隆君（ともに鮫川小六年）は、八月十二日に日本武道館で開かれた二〇〇六年全日本少年武道少林寺拳法錬成大会で、見事優秀賞を受賞しました。

中川西・増谷組が出場した小学生四級の部には全国から約百十五組が参加。二人一組で組み手を行い、スピードや技のキレなどを競い合いました。また、鮫川支部からは二人のほかに四組が出場し、日ごろの練習の成果を発揮しました。

5 NEWS
安心して暮らせる村に
自主防犯パトロール出発式


パトロールに出発する分隊員ら

村防犯協会（大樂勝弘会長）の自主防犯パトロール車出発式は九月十日、役場前駐車場で行われました。

自主防犯パトロール車は、村内で車上荒らしなどの犯罪が増加している（昨年比約五倍）ことを受け、犯罪の未然防止や青少年の健全育成を目的に配備。東白川防犯指導隊鮫川分隊（溝井昭次分隊長）が中心となり村内の主要幹線道路や公共施設の駐車場などを巡回します。式では、分隊と村に県警本部長名のパトロール実施者証が交付され、終了後にはパトロールも行われました。

6 NEWS
むし歯のない子は3人
8月29日実施の第2回3歳児健診

八月二十九日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診児八人中三人でした（写真）。

次回の三歳児健診は、十一月二十一日（火）の予定です。


前田 一成（かずあき） くん
①赤坂東野字前田／②父・丙午さん、母・克江さん／③野菜を沢山食べています。特に好き嫌いがなく、何でもＯＫです。


坂本 愛花（まなか） ちゃん
①赤坂西野字茅／②父・直喜さん、母・ひとみさん／③毎日歯みがきをがんばりました。仕上げみがきも丁寧にしました。

①住所
②保護者
③むし歯にならないためにがんばったこと

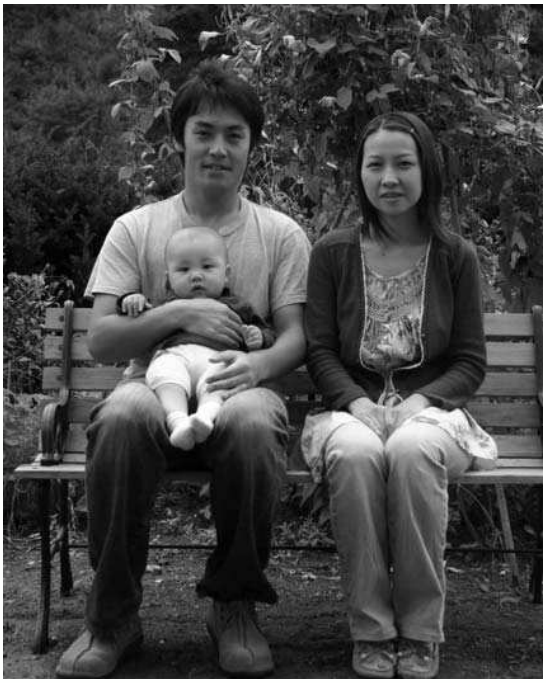

圓井 唯香（ゆいか） ちゃん
①赤坂東野字広畑／②父・利幸さん、母・美穂さん／③家族で協力して仕上げみがきを朝と夜かかさずやるようにしています。

みんなのページ

みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
ＴＥＬ 0247-49-3115
ＦＡＸ 0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

森　隆之さん
Takayuki MORI

もり・たかゆき●昭和51年12月生まれ。赤坂東野字楢久保在住。趣味はサーフィン、バスケ、スノーボードなどスポーツ全般。「今は、息子と遊ぶときが一番楽しい時間です。」と笑顔で話す。



村民［随想］リレー ㊾

大好きな村だから…

私は、この村で生まれ育ち、高校、大学と村を離れ、卒業と同時に村に戻ってきて、現在は地元のＪＡ職員として忙しい日々を過ごしています。また、休日は友だちと海へサーフィンに出かけたり、妻や子どもと買い物に出かけたりと充実した生活を送っています。

最近、私は村がどんどん好きになっています。自然が多いし、空気はきれいで水もおいしい。何よりも村の人々は人情味がありとても温かい。この素晴らしい村を他の町村の地域の人々にもっと知ってもらいたいと思っています。そのためには次世代の若者が興味を持つようなイベントや施設などを作らなければなりません。例えば、子どもからお年寄りまでみんなが集まれる公園。スケートパークやバスケットゴールがあり、ゲートボール場や直売所、売店など他町村には無い大規模な総合公園なども面白いと思います。

最後に、小さなことですが、グラウンドのトイレを女性や子どもも入れるように整備してほしいと思います。大好きな村だから私も出来るかぎり協力したいです。

■次は、舟木敏勝さん（赤坂西野字石ノ花）にバトンタッチ！

たのに、検察官がその事件を起訴してくれない…」といった不満をお持ちの方のために検察審査会があります。制度の詳細については、郡山検察審査会事務局までお問い合わせください。／問い合わせ…郡山検察審査会事務局（福島地方裁判所郡山支部内）☎024-932-5656

●自動車保険請求相談センターをご利用ください　(社)日本損害保険協会では、交通事故の保険請求の解決にお困りの方のために「自動車保険請求相談センター」を全国に設置し、自動車損害賠償責任保険と任意自動車保険の請求について無料で相談を受けています。相談日時…月～金曜日（祝日除く）、午前９時～正午、午後１時～５時（事前に予約が必要です）／場所…福島自動車保険請求相談センター（福島市栄町10-21福島栄町ビル５Ｆ）／問い合わせ…(社)日本損害保険協会東北支部福島自動車保険請求センター☎024-521-1295

●10月は「労働保険適用促進月間」です　労働保険（労災保険・雇用保険）は、労働者が労働災害や失業したときに必要な保険給付を行い、生活の安定や社会復帰、再就職の促進などを図るため、政府が管理・運営している強制的な保険制度です。労働者を１人でも雇っている事業主は、労働保険に加入する義務があります。手続きがお済みでない事業主の方は、最寄の労働基準監督署、ハローワーク（公共職業安定所）などにおたずねください。／問い合わせ…福島労働局労働保険徴収室適用第１係☎024-536-8800

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。

まめ通信 Vol.6

緑のふるさと協力隊・大草鮎子さんの鮫川村体験記です。

両親が来て

女子大生の農村体験に同行し、そういえば自分も女子大生だったと久しぶりに思い出した大草です。

先日、鮫川村に両親が遊びに来ました。そこで、最近「当たり前」となってきた鮫川での生活が、横浜ではそうではなかったって改めて思い出しました。

鮫川に来村する際、両親は、磐城浅川の駅から鮫川にのんびりと向かっていました。徒歩で。しかし40分ほど歩いたところで、親切な村の方に呼び止められ、車に乗せてもらい、村まで送ってもらったそうです。村についてからも、「お茶飲まっしょ。」と、見ず知らずの人を簡単に家へあげてお茶を振舞ってくれるおばあちゃん。初対面でなぜか梅干をくれたおじいちゃん。田舎がないならここを田舎だと思ってまたくればいいよ、と言ってくれたおじいちゃん。いろんな方と出会う度、「すごいみんな親切ね」と、母は喜んでいました。

ごめんなさい、そうした優しさに、私はすっかり慣れてしまっていました。半年前の私にとっては全然当たり前のことではなかったのに。都会の人は冷たい。田舎の人は温かい。そんな単純なものではないと思いますが、人と人の繋がりをとても大切にしていて、それが日常的に自然にあるという暮らしは、とても素敵なことだと改めて思いました。そんな鮫川村に２日間滞在し、両親は娘はよいところに住んでいると、安心して横浜に帰って行きました。浅川まで歩いて。(歩きたかったみたいです。)

これからいよいよ収穫の秋です！ひしひしと迫ってくる冬に怯えつつ、秋の味覚を満喫し、恵みの季節を楽しみたいと思います。(文・写真／大草鮎子)



八幡神社のお祭りで先代飯塚さんと。

広報 文芸 神無月



俳句

山紅葉河はゆっくり水清し　中井　恒峯
花展の荷おいて秋めくビルの角　矢部　正子
朝もやに案山子が並ぶ学校田　斎須　信子
古酒壷に挿して遠目の吾亦紅　山本　恵子
肩に触るるコスモス歩道風やさし　前田　縫子
此の頃の朝夕の涼食進む　北條　素人坂
グラジオの朱の色映える緑中　黒田　寿香
花火客帰りし庭の闇深し　鈴木　米子
薬撒くエンジンの音夏最中　松本　精一
一対のつばめ我家を占領す　小松　ハルエ

短歌

銀河澄む惑星減ろうが増えようが　山本　五十鈴
終戦も六十一年過ぎ行くもあの日の記憶夢には非ず　赤坂　朝子
中山間休耕田の維持管理米作れるは何時来ると云う　松本　一郎
老いの身に後日などなく今日も亦この世を去りし友との別れ　鷲野谷　満
雑木林歩めば乳茸目に入りぬ色鮮やかに暫し眺める　杉山　磯子
ひんやりと冷たき朝の垣根越し咲き遅れたる朝顔の藍　田中　志乃
兵役の無き世に生まれし子や孫の幸せ願い祖らに香炊く　岡部　シゲ
雑草（あらくさ）の繁りし人の住まぬ庭赤き芙蓉の咲きつぐ哀れ　関根　キヌ子
鍬の柄の細りし今もわが支え共に働き苦労の染みる　北條　平
まだまだ早いと思った孫が結婚し女児誕生の報せが届く　鈴木　クニ
また来るねと紅葉のような手を振った曾孫に目頭熱し　関根　ハナヨ
夫退院孫出産も無事済みて心晴々　関根　富久
足長に手の甲刺され気がつけば枝の巣握り剪定しおり　関根　叉
流氷の根源とあるバイカル湖季には底も見ゆるがに澄む　蛭田　浩市
わが門に咲きて並べるマーガレット今朝も見送る花色もえて　蛭田　光江
捨て難く納屋隅に置くわが鍬は錆びても返すほのかな光り　坂本　雪絵
足運び手にさやり見る里芋は今朝も広げぬ露含む葉を　森　芳子
総裁選近づきたれど安倍さんに抜かれて他はものしずかなり　前田　初
卒寿過ぎ腕に覚えの鎌研げば小池は広ぐ水の波紋を　大平　太平
お父さんもう寝ましょうと何故かしら妻の今宵は声かけて来る　芳賀　常夫
お婆ちゃんごはんですよと呼ぶ孫に今日もひそかな元氣を貰う　根本　恵智
夜勤する子に弁当をつくりやるこれも老いての愉しみの一つ　須藤　マツ子
花街道むくげの花は咲きにけり今年もぐんと花数増して　遠藤　秀
朝々に見上げる山のみどり濃し木は装う晩夏の色を　佐藤　春枝
日旺の来れば田んぼを廻りつつ息子も氣遣う稲の出来栄えを　鈴木　イミ子
電話などかけ合い乍らこの日頃大切とする友との絆　関根　瑞恵
いい花ね一本分けてと来客も迄うなり庭の百日草を　水野　珠子
パチンコの玉のひびきは耳に来て誘うもゆかぬわれとなりたり　本郷　嘉信
花見屋で色紙を書いた思い出が今も奮わす作歌の心を　齊藤　平四
滝桜の孫木でもある一本の根本にそっと御礼肥置く　溝井　清乃
雑草の花にはあれど色の良し一本刈らずに残し置く畦　鈴木　俊子
薬草を届けてくれし友も又闘病生活長かりしという　吉田　世津
外されぬ人の道なり心して出でゆく朝に街道の花　岡部　一

情報の泉 わくわく WAKU-WAKU

案内・募集

●平成18年度福島県若者･フリーター就職支援セミナー開催　県では、就職活動中の若者、フリーターのみなさんを支援するためセミナーを次により開催します。セミナーでは、専門のキャリアカウンセラーが履歴書の書き方や面接試験の受け方などを指導します。開催日…11月14日(火)・15日(水)／場所…ビッグアイ(郡山市)／詳細・問い合わせ…福島県就職サポートセンター☎024-927-4772

●「までいに家」一周年記念イベントを開催　社会福祉法人鮫川福祉会 知的障害者授産施設鮫川たんぽぽの家で運営をしています手打ちうどん店「までいに家」（白河市・メガステージ白河内）が10月５日をもちまして、一周年を迎えることとなりました。これもひとえにご協力をいただいた方々、日頃ご愛顧をいただいている方々のおかげでありますことを感謝申し上げます。つきましては、10月８日(日)午前10時から午後３時まで、「までいに家」一周年記念イベントを開催いたします。当日は、半額特別メニューに加え、模擬店も出店しますので、みなさまのご来場を心よりお待ち申し上げております。／問い合わせ…鮫川たんぽぽの家☎49-2022

●ごぞんじですか！検察審査会　「交通事故や詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあっ



「ほっとする村」でとても住みやすいですね

ふなき
舟木 こずえさん（23歳）
［赤坂西野字岡田在住］

誕生月　昭和58年６月
血液型　Ｏ型
星　座　ふたご座
性　格　明るく元気で、笑っていることが多いですね。

■仕事はどんなことをしていますか？

棚倉町のセブンイレブンで働いています。

■仕事で心がけていることはありますか？やりがいを感じるときはどんなときですか？

いろいろなお客さんがいるので、いつも笑顔で接することを心がけています。忙しいときほどやりがいがあるし楽しいですね。

■休日はどんな風に過ごしていますか？

高校野球を見るのが好きなので、夏の間は時間があれば試合を見に行っていました。あとは買い物に行っていますね。

■これからしてみたいことはなんですか？

まとまった休みがとれそうなときはのんびりと温泉に行ってみたいです。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？

ずっと鮫川に住んでいるので他と比べることはできませんが「ほっとする村」というだけあってほっとします。不便なところもありますが、住みやすい村ですね。

■村に必要なもの、要望などはありますか？

ユースカレッジ（仕事でなかなか参加できていませんが）のような若い人が集まれる機会や、買い物できる場所、働く場所があれば若い人も残ってもっと住みやすくなると思います。

■

次は中川西吉栄さん（石井草字石井）の予定です。

学校だより

（第24回）

鮫川中学校 編
浅賀　秀寿 校長
生徒173人

三年生の思春期保健講座を開きました

九月十九日、本校の図書室で三年生六十人を対象に、思春期保健講座を開きました。

本校教諭のほかに、講師として郡山市教育総合支援センターの助産師の宗形初枝さん、鮫川村役場の保健師の鈴木芳子さんにお越しいただき、たくさんの大切なお話をいただくことができました。



この講座のねらいは、現代社会の中で、妊娠・中絶・性感染症が低年齢層に増加している様子を正しく知り、自分はどうすればよいのかを学ぶことでした。県南地区の性の問題や、病院などの医療現場での様子を生徒たちは熱心に聞きました。

最後は、男子と女子に分かれて「自分を大切にするためには、これからどのような生き方をしていけばよいのか」についてしっかりと考えを深めることができました。

郡中体連駅伝大会と新人戦で選手たちが頑張りました

九月五日と二十六日、東白四町村で駅伝大会と中体連新人戦が開かれました。結果は次のとおりです。

■駅伝大会
三位　女子駅伝チーム
四位　男子駅伝Ａチーム

■新人戦
【団体の部】
優勝　男子バレーボール／女子バレーボール／ソフトテニス
二位　ソフトボール／女子卓球
三位　軟式野球／男子卓球
【個人の部】
優勝　女子卓球シングルス（岡部里美）
二位　テニスダブルス（矢吹奈緒・木之内裕子組）
三位　女子卓球シングルス（金澤梢）／女子卓球ダブルス（緑川咲香・小松千春組）／同（吉保琴恵・芳賀秀美組）／テニスダブルス（関根光代・山形純佳組）

（文・写真／鮫川中学校）


遊歩道を整備する参加者

滝周辺をきれいに

渡瀬地区地域づくり検討委員会（委員長・蛭田吉郎渡瀬区長）の江竜田の滝遊歩道クリーンアップ作戦は９月１６日、江竜田の滝と滑滝（大戸中）で行われました。

作業には委員会のメンバーなど約４０人が参加。江竜田の滝では、遊歩道の補修や枝打ち、案内板の清掃などを、滑滝では滝周辺の刈り払いを約２時間かけて行いました。

検討委員会は、渡瀬区全体を活性化しようと設置されたもので、今回の活動のほかにもさまざまな取り組みを行っています。

南米音楽に酔う

（財）日本青少年文化センターの青少年劇場「アンデスのフォルクローレコンサート」は９月８日、鮫川中と青生野小で行われ、生徒（児童）、保護者など約２３０人が鑑賞しました。公演では、南米アンデス地方出身のクルス・ラスルイサさんとルイス・サルトールさんが南米地方の伝統民族音楽「フォルクローレ」を披露。子どもたちも演奏に参加する場面もあり、参加者は「ケーナ」などの楽器で奏でられる素敵な音色に酔いながら、楽しいひとときを過ごしていました。


南米の楽器演奏に挑戦（鮫川中）


交通安全を呼びかける隊員ら

事故に気をつけて

棚倉地区高齢者交通安全指導隊鮫川分隊（藤田一夫分隊長）の出動式は９月２１日、役場正面玄関で行われました。式には分隊員、関係者ら約１０人が出席。指導隊は、交通事故に遭いやすい高齢者の交通安全に対する意識を高め、高齢者の事故を防ぐことを目的に設置されたもので、個別訪問活動や交通安全講習会を行なっていきます。

式終了後には個別訪問も行われ、隊員らが反射テープなどを配り交通安全を呼びかけました。

村史を頒布しています

村教育委員会では、平成２年度から編さんに着手し、平成13年３月に完成した「鮫川村史」（全３巻）を頒布しています。

村史は、村内外から収集された調査収集資料をもとに発刊した「資料編」（上・下）と、関係資料を駆使し各分野の専門委員の先生方の識見により編さんした「通史・民俗編」の全３巻となっています。

幾多の困難を克服して生きてきた先人の足跡が一目で分かる「鮫川村史」をぜひこの機会にお求めください。



価格　１巻あたり　4,500円
３巻セット価格　10,000円
※村外の方は１巻あたり5,000円、３巻セットで12,000円となります。

■**問い合わせ**　村教育委員会教育課生涯学習係☎４９－３１５１

Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号
0247-49-3111(代表)

【直通電話番号】

総務課		49-3111
		FAX 49-2651
住民福祉課	[住民係]	49-3112
	[福祉係]	49-3113
		FAX 49-2651
	[健康係]	29-1231
農林課		49-3114
		FAX 49-2112
企画調整課		49-3115
		FAX 49-3363
地域整備課	[建設係]	49-3116
	[環境係]	49-3196
		FAX 49-3363
農業委員会		49-3197
		FAX 49-2112
議会事務局		49-3198
出納室		49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館(FAX兼)	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター(FAX兼)	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター(鮫川保育園・鮫川幼稚園)	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター(地域包括支援センター)	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ(FAX兼)	48-2555
手・まめ・館	49-2556
	FAX 49-2445

今月の納税
10月31日(火)
村県民税 第3期
国民健康保険税 第5期
介護保険料 第5期

◆お知らせ1

保健

費用の一部を負担します
高齢者インフルエンザ予防接種

高齢者インフルエンザ予防接種を次のとおり実施します。

対象 村内に住所があり、居住している満65歳以上(接種日現在)の方

接種料金 各医療機関が定める額(医療機関により異なります)で、接種料金から2,000円(村負担額)を差し引いた額

実施期間 11月1日(水)～12月30日(土) ※期間外は全額自己負担

予防接種の予約 10月1日から予約を受け付けています。次の村内医療機関および東白川郡内の医療機関に直接申し込んでください。また、郡外の医療機関で接種を希望される方は、「高齢者インフルエンザ接種依頼書」の提出が必要になりますので、事前に役場住民福祉課健康係(保健センター内)にご連絡ください。

村内医療機関 村国民健康保険診療所(☎49-2028)、緑ヶ丘さくら診療所(☎49-3200)

■問い合わせ 村住民福祉課健康係 ☎29-1231

募集

第59回村文化祭 一般作品展作品募集

対象 村内在住者

募集作品 絵画・手芸・写真・陶芸・生け花・木工・わら細工など

募集期間 10月18日(水)～27日(金) ※ただし土日は除きます。

展示場所・期間 村公民館・10月31日(火)～11月9日(木)

応募方法 住所、氏名、電話番号、作品種別、題名を記入のうえ(様式自由)作品に添えて村公民館に提出してください。

その他 ①作品が大きいものや壊れやすいものなどは会場に直接搬入し、飾り付けをお願いします。搬入日時…10月30日(月)午後2時～4時／②搬出日時…11月10日(金)午前8時30分～10時

■問い合わせ 村教育委員会教育課 ☎49-3151

相談

秋の行政相談週間

10月16日(月)から22日(日)の一週間は「秋の行政相談週間」です。行政相談は、国や県、市町村などの行政機関や特殊法人の仕事に関して、困っていることや要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。



鮫川村行政相談委員
高杉タカ子さん
(赤坂東野字大竹)
☎49-2430

行政相談員は、いつも自宅や電話などで相談に応じていますが、期間中は次により相談所を開設します。お気軽にご相談ください。

日時 10月13日(金)午前10時～午後3時(県政巡回相談と合同で開催します)

場所 村公民館

■問い合わせ 村総務課総務係 ☎49-3111

催し

移動水族館がやってくる!

主催 (財)ふくしま海洋科学館

日時 10月14日(土) 午前9時30分～午後3時

場所 村公民館大集会室

内容 ①移動水族館専用車両(アクアラバン)での展示…観覧水槽(熱帯魚)・タッチ水槽／②ハンズオン展示…魚のはく製、貝の化石などが触れます／③工作教室…海藻の押し葉を使った工作

入場料 無料

■問い合わせ 村教育委員会教育課生涯学習係 ☎49-3151

◆お知らせ２

年金出張相談会

年金受給のための相談会を次により開催します。ぜひご利用ください。

日時　１０月１９日(木)午前１０時から

場所　棚倉町役場会議室

内容　厚生年金、国民年金の受給見込額や請求書の受付など

■**問い合わせ**　白河社会保険事務所年金給付課☎０２４８-２７-４１６５

保育士登録はお済みですか

児童福祉法の改正により平成１５年１１月２９日から、従来の「保育士(保母)資格証明書」では、保育士として業務を行うことができなくなりました。今後保育士として業務を行う方は、県知事に登録し保育士証の交付を受けることが必要です。

登録手数料　4,200円

■**問い合わせ**　登録事務処理センター☎０３-５４８５-３１５０

全国一斉司法書士無料法律相談

１０月１日は「法の日」です。福島県司法書士会では、登記や供託の手続き、訴訟書類の作成などについての無料法律相談会を行います。

相談内容　不動産の相続・売買などの登記、会社の設立などの登記、家事審判手続き、訴訟書類の作成など

日時　１０月1日(日)午前１０時～午後3時

場所　高山コミュニティーセンター（白河市新白河２－２１２）

■**問い合わせ**　福島県司法書士会☎０２４-５３４-７５０２

職場の労使困りごと相談会

福島県と福島県労働委員会では、次の日程で、みなさんの職場の中で起きている賃金や労働条件をめぐる労使間の困りごとについて出張相談会を行います。費用は無料で、秘密を厳守します。

日時　10月15日(日)午前11時～午後4時

場所　マイタウン白河

■**問い合わせ**　県労働委員会事務局☎０２４-５２１-７５９４

職場でのトラブル解決をお手伝い

企業の組織再編や人事労務管理の個別化などにより、職場における個々の労働者と事業主とのトラブル(紛争)が増加しています。福島労働局では、「総合労働相談コーナー」を県内５カ所の労働基準監督署内に設置し、解雇、労働条件、募集・採用、男女均等取り扱い、セクハラなど労働問題に関するあらゆる分野について、総合労働相談員が労働者・事業主からの相談を受け、紛争の自主的な解決を促進するための援助を行っています。

職場でのトラブルに悩んでいる方や人事・労務などで疑問をお持ちの方などは、お気軽に最寄りの総合労働相談コーナーにお問い合わせください。

■**問い合わせ**　福島労働局総務企画室☎０２４-５３６-４６００

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	1	1
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	7
無施錠	0	4
ガラス破り	0	3
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	1	1
部品ねらい	0	1
自動車盗	0	2
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	2	12

発生件数：８月26日～９月21日
累計：１月１日～９月21日

●管内では、自動車盗と車上ねらいが多発しています。「自分だけは大丈夫」という安易な気持ちを持たず、自主防犯活動を推進しましょう。

◆保健センターいきいき通信　文／村住民福祉課健康係（保健センター内）　鈴木芳子保健師　☎29-1231

こころキラリ健康生活のススメ～心の悲鳴に気づきましょう～②

心が疲れてくると、身体にはいろいろな症状が現れてきます。今月は先月に引き続き心の健康についてご紹介します。

■「心の噴火」を早く見つけましょう

▼第1段階（身体の変化）

心の噴火は、最初に身体的なサインとして現れる場合が多いようです。この段階で周囲が気づいて適切に支援できるといいのですが、症状としては「めまい」「頭痛」「腹痛」「吐き気」「下痢」「発熱」「動悸」などがあります。

また、「胃潰瘍」や「ぜんそく」、「じんましん」「円形脱毛症」などの症状も現れますが、これらの症状がある場合は治療が必要です。医療機関に相談してみましょう。

▼第2段階（行動の変化）

行動の変化は、本人よりも先に、その人の家族や関わっている人が気づくことが多いようです。行動の乱れに気づいたら、叱責するのではなく、「もしかしたら心に何か問題を抱えているのかな?」と疑ってみましょう。

行動の変化の種類には「欠席や遅刻、早退の増加」「ミスの増加」「生活時間が不規則になる」「睡眠時間の乱れ」などがあげられます。日頃と違う行動をしていたら、じっくり話を聴いてみましょう。

▼第3段階（心の変化）

精神面に現れて初めて問題になることがほとんどです。この段階では専門家の治療が不可欠な場合が多く、「情緒不安定」「性格変化（暗く陰気になる、無気力で無感情になる）」「メンタル不全（軽度の神経症など）」などの症状が現れます。

ストレスを自分自身で処理しきれなくなったとき、地下のマグマが地表に噴火するように、それは目に見えるものとして現れてきます。

あなたの身近な大切な人に変化はありませんか。「最近元気がない」「遅刻が増えたかも?」といったささいなサインを見逃さないでください。心の奥には大きな心の問題を抱えているかも知れません。

■対処（ケア）の仕方

①ゆっくり、じっくり、話しをよく聴いてください

②相手の立場に立って、あたたかい心で接しましょう

③困ったときは、専門家に相談しましょう。（医療機関・相談機関など）

私たちは誰でも心が弱っているときは、ひとつの見方ばかりにとらわれてしまいがちです。もっと柔軟にものの見方を変えてみると、「ふっ」と心が軽くなってきます。

疲れた心と身体をゆっくりさせて、無理をしないで心豊かな生活を目指してみませんか?

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150



ヘンリーのしごと（D・B・ジョンソン著、福音館書店）
霧がうっすらとかかった静かな朝。ヘンリーは、野の花に水をやり、石を並べ、雨が降るのを人に知らせたりしながら仕事に出かけます。しかし、ヘンリーは仕事をしているようには見えません。ヘンリーの仕事とは？



ナゲキバト（ラリー・バークダル、あすなろ書房）
私は9歳のとき、両親を事故で亡くし、祖父に引き取られた。優しく、ときには厳しく"生きる"ということを教えてくれた祖父。二人で暮らした日々の思い出の中でひと際鮮明に蘇るのは、あの日の情景。それは…。

火	水	木	金	土
3 ●送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**4** ●送迎バス運行日（中野・東野方面） ●社会復帰支援事業（やまぶきの会）…9:30～15:00/白河市 ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●小学校郡陸上大会／棚倉町	**5** ●送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**6** ●第2回献血…役場前駐車場 ●やまゆり保育室・やまゆり乳児室・子育て講演会…9:30～[こ]	**7**
10 ●送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●図書休館日	**11** ●送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**12** ●送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●幼稚園秋の遠足 ●住民健診結果説明会…9:00～12:00／各会場 ●らっこくらぶ[こ]	**13** ●住民健診結果説明会…9:00～14:10／各会場 ●行政相談…10:00～15:00[公]	**14** ●移動水族館…9:30～15:00[公]
17 ●送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●内科健診[こ] ●小学校合同修学旅行（～18日）	**18** ●送迎バス運行日（中野・東野方面） ●社会復帰支援事業（やまぶきの会）…10：00～15：00[保] ●内科健診[こ] ●おはなしの森…16：00～16：30[図] ●らっこくらぶ[こ]	**19** ●送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**20** ●農業委員会総会 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公]	**21**
24 ●送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**25** ●送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●らっこくらぶ[こ]	**26** ●送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●保育参観デー[こ]	**27** ●保育参観デー[こ]	**28** ●保育参観デー[こ] ●鮫川中壇の岡祭
31 ●送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●乳がん検診…9:30～、13:30～[保] ●村税などの納期限 ●一般作品展…9:00～17:30[公]（～11/9。土日を除き、祝日は正午まで。）	**11/1** ●送迎バス運行日（中野・東野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**2** ●送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**3** *文化の日* ㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 ●少年主張大会・音楽発表会[公]	**4**
7 ●送迎バス運行日（西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**8** ●送迎バス運行日（中野・東野方面） ●やまゆり保育室[こ] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**9** ●送迎バス運行日（渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**10**	**11**

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（８月届け出分・敬称略）



武藤（むとう）　春花（はるか）・女
平18. 7. 27生
住所…内ヶ竜
保護者…玄由・仁子



鈴木（すずき）　叶（かなう）・男
平18. 8. 14生
住所…馬場
保護者…隆寛・明美

●おくやみ申し上げます

（８月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
仁田	緑川　ミネ	8. 15	96歳
西野内	松本　定吉	8. 22	71歳

●人の動き

９/１現在・（　）は前月比

人口	4,422人	（－4）
男	2,196人	（－3）
女	2,226人	（－1）
世帯	1,128戸	（＋2）

●寄付・寄贈

（８月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]…緑川一良（仁田）松本アキ子（西野内）

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●話題

災害時などの救護・救援など赤十字活動の一層の進展を図るため、日本赤十字社福島県支部の補助を受けて８月31日、赤十字救護車が配備されました。



配備された車両

●編/集/後/記

■早いもので暑かった夏もいつの間にか過ぎ、秋らしい涼しい日々が続いています。年を重ねるたびに一年の長さを短く感じるといいますが、私も身にしみて実感しています。さて、今月は10月。実りの秋にはおいしいものや楽しいイベントが目白押しです。15日には、うまいもの祭りも開催されます。みなさんもぜひ足を運んでみてください。　（緑川）

10 生活情報カレンダー
月1日～11月11日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
10/1 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 木村医院（矢祭町）☎46-3528 添田医院（石川町）☎26-2538 ●親子読書教室…10：00～11：30[図] ●西野区ふるさと相撲大会…12：30～／熊野神社境内	**2** ●図書館休館日 ●村税などの納期限
8 ㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 ●鮫川たんぽぽの家「までいに家」一周年記念イベント…10：00～15：00／メガステージ白河内「までいに家」	**9** *体育の日* ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 車田病院（塙町）☎43-1019 ●図書館休館日
15 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 中島医院（塙町）☎43-0373 とうまちクリニック（石川町）☎56-3288 ●第19回高原の鮫川うまいもの祭り…10：00～14：00／鹿角平観光牧場	**16** ●４カ月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13：30～／塙厚生病院 ●図書館休館日
22 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-3008 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 浅川南診療所（浅川町）☎36-3302 ●村議長・副議長杯ゲートボール大会／さぎり荘ゲートボール場	**23** ●図書館休館日
29 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 石川医院（塙町）☎43-0003 やまもと内科クリニック（石川町）☎26-8311	**30** ●図書館休館日
5 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 木村医院（矢祭町）☎46-3528 大野診療所（石川町）☎26-2615 ●青生野小学校学習発表会	**6** ●図書館休館日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。　㊡＝休日当番医




バーベキューパーティー



干し草投げ選手権




高原ＹＯＳＡＫＯＩ

美味しいものがいっぱい！

- ●バーベキューパーティー（牛肉・豚肉・野菜・豆腐ステーキセット）
- ●さめがわうまいものコーナー
- ●青空市

楽しいイベントが盛りだくさん！

- ●奥州鮫川太鼓演奏
- ●ブラスバンド演奏（学法石川高）
- ●スーパーラッキーナンバーズ
- ●スーパービンゴゲーム（１枚300円でカード販売［限定200枚］。豪華賞品付。）
- ●第４回全日本干し草投げ選手権大会
- ●高原ＹＯＳＡＫＯＩ
- ●チビッコ広場（動物ふれあい広場、フアフアパノラマ）

主催　第１９回高原の鮫川うまいもの祭り実行委員会
共催　鮫川村ふる里振興協議会（鮫川村・ＪＡ東西しらかわ鮫川支店・鮫川村商工会）
後援　（有）鹿角平観光センター　福島民報社　福島民友新聞社　ラジオ福島　福島テレビ　福島中央テレビ　福島放送　テレビユー福島　ＮＨＫ福島放送局
協力　交通安全協会鮫川支部

●問い合わせ
第１９回高原の鮫川うまいもの祭り実行委員会事務局
（鮫川村商工会内）
☎0247-49-2171　FAX 0247-49-2541
Ｅメール samekun@coral.ocn.ne.jp

広報 さめがわ　No.630［平成18年10月1日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場企画調整課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3115
■FAX 0247-49-3363　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp